



地域リハOT 便り vol.9

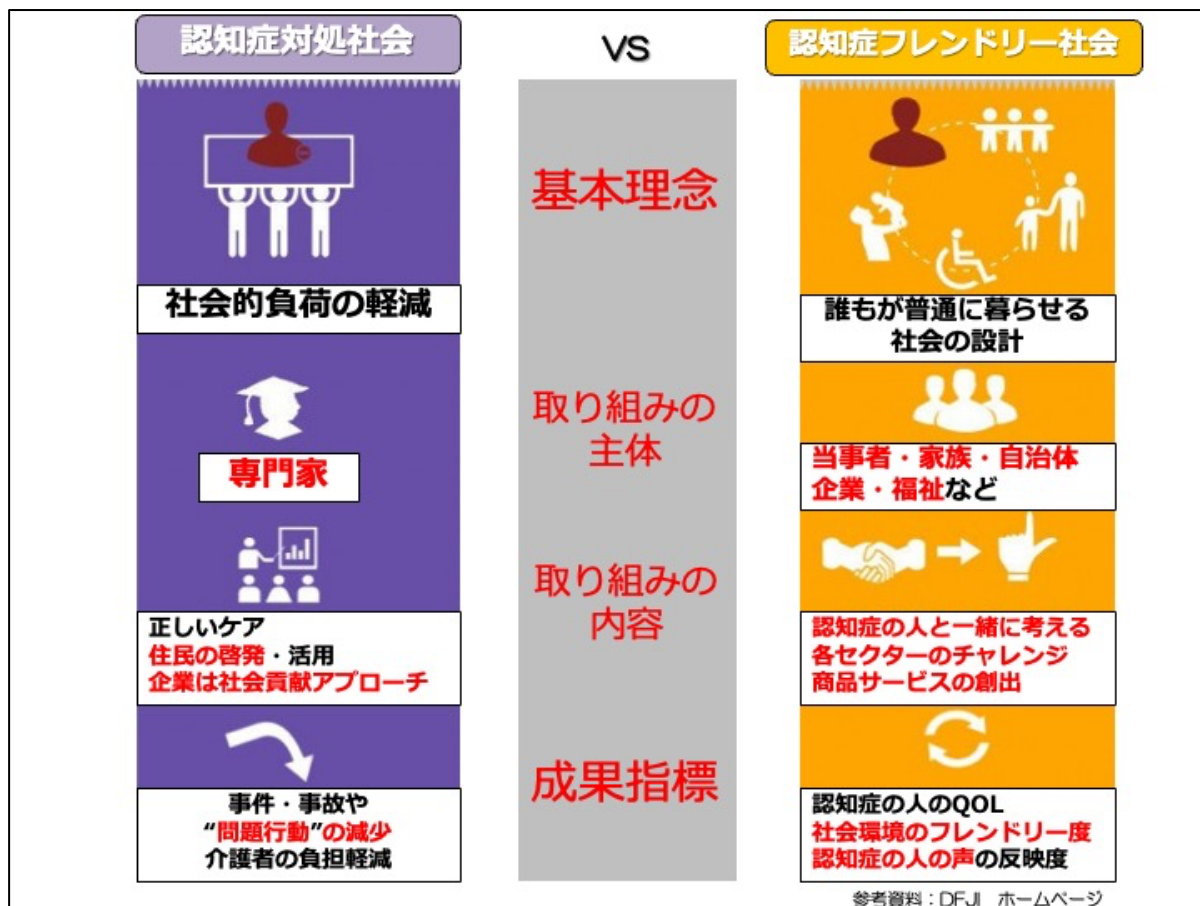
地域リハビリテーション部では、年に数回地域リハOT 便りを作成しています。今回は、認知症とともに班の活動の一つである認知症フレンドリー研修会に向けて、「認知症フレンドリー社会とは？」や研修会情報について紹介したいと思います。

【認知症フレンドリー社会とは】

認知症とともに班 大西 里奈、佐野 佑樹

【認知症フレンドリー社会】とは、「認知症の人がごく少数で特別な時代だった社会から、高齢化が進み認知症の人が“普通”にいる社会へ移行するなかで、認知症の人や家族ではなく社会の側こそが変わらなければならないという課題意識を反映した言葉」です。私たちの生活をとりまく法律や制度、企業活動などはすべて、認知症の人や高齢者がこれだけ多くなる前につくられたものです。悲しいことに多くの地域では、認知症の人が何か目に見える事件や事故を起こした際、社会生活の制限（認知症対応社会）をしています。これからは、多くの人が人生の後半で認知症とともに生きるステージを経験するため、社会から排除されずに、地域住民として、消費者として、普通に暮らしていくことができるような社会はどのようなものなのか。社会をアップデートしていく視点をもとに、「買い物」に焦点を当てた、認知症フレンドリー研修会を目指します。

【文献紹介】認知症の人の「お金の計算に時間がかかり混乱する、買い物を諦める」という課題に対処できた「スローレーン：誰にも気兼ねなく時間をかけて支払いが可能」があります。スローレーンの設置により、今まであまりこのスーパーを利用しなかった方が来られるようになり、売り上げが上がったとのことです。このように、認知症の人の声がきっかけで、誰もが買い物しやすい環境ができたのです。



【認知症フレンドリー研修会に向けての認知症とともに班の取り組み紹介】

認知症フレンドリー社会に向けて「認知症の人が買い物しやすい環境をつくる」という共通目的のもと、地域特性（北勢・中勢・南勢）や文献検索、認知症の人や小売業団体に情報収集を行い、認知症フレンドリー研修会で報告できるよう準備を進めています。

- **北勢**では、愛知県の「認知症にやさしいまち大須」プロジェクトから参考にできる部分をまとめています。また、北勢地区で認知症フレンドリー社会を目指した取り組みをしているOTから情報収集をしています。
- **中勢**では、認知症の人や高齢者の買い物を取り巻く現状や課題について先行研究をまとめています。今後はまとめた結果を参考にし、中勢地区の認知症の人や高齢者へアンケート調査を行い、現状把握を行う予定です。
- **南勢**では、地域の高齢者に馴染みのある株式会社ぎゅーとらに、取り組み内容について情報収集を行いました。ぎゅーとらでは、買い物難民者のために、移動スーパーとくし丸と連携し軽トラックで移動販売を行ったり、高齢者らを無料送迎しているぎゅーとら行こカーを運営していました。また買い物支援だけでなく、高齢者の見守り支援やスタッフが認知症サポーター養成講座を受講するなどの取り組みを実施していました。

【認知症フレンドリー研修会】

三重県作業療法士会 地域リハビリテーション部 認知症とともに班 主催

認知症フレンドリー社会について考える ～誰もが買い物を楽しめる社会へ～

1. 特別講演
講師：仙波 梨沙 先生
西九州大学リハビリテーション学部
リハビリテーション学科作業療法学専攻講師

2. 認知症とともに班 取り組み紹介
北勢地区：他市町から学んだことと北勢地区の現状
中勢地区：認知症当事者と高齢者の買い物に関する現状と課題
南勢地区：地元スーパーとの情報交換会から得られたこと

3. 対話の時間
認知症フレンドリー社会の視点を深めよう！

日時 ▶▶▶ 2022年1月15日(土)
19:00～21:30 (受付開始18:30)

開催方法 ▶▶▶ 遠隔会議システム (Zoom)

参加費 ▶▶▶ 1000円 ※事前振込 (Pass Market使用)

お申込み QRコードまたは下記のURLからお申し込みの手続きをお願いします
<https://forms.gle/hu9W58dGC3BtL1U69>

※お申し込み完了後、自動返信メールにてPass MarketのURLを送付しますので、振り込みの手続きをお願いいたします

お問い合わせmail mie.ot.d.c.friendlystudy2021@gmail.com



■ 研修会タイトル

「認知症フレンドリー社会について考える
～誰もが買い物を楽しめる社会へ～」

認知症フレンドリー社会について、一緒に学びませんか？今回の研修では、講師に仙波先生をお招きし、認知症の方の買い物支援についてご講演いただきます。買い物のなかでも特に物品探索行為に着目した分析、支援方法の検討など、非常に興味深い内容となっております。

後半では、認知症とともに班の取り組み紹介や、認知症フレンドリー社会の視点について皆さんと共有、対話が出来ればと考えております。

是非ふるってご参加ください！

※詳細はポスターをご参照ください。

認知症とともに班：前田、上田